



Secretary/Secrétaire: Gilles Lesage, La Société historique de Saint-Boniface, 340, boulevard Provencher,  
Winnipeg, Manitoba, R2H 0G7, Canada. e-mail: glesage@shsb.mb.ca

2004-2008 S P A 運営委員会(S C)記録(案)  
ウィーン、2004年8月27日

出席者:ディディエ・グランジュ(会長、スイス), アンリ・ズバル(副会長、フランス), ジル・レサージュ(事務局、カナダ), 小川千代子(日本), トルディ・ハスカンプ・ピーターソン(USA), ローラ・ガブリエラ・サラザール(メキシコ), ホアン・ボアダス・イ・ラセット(スペイン・カタルニア), ワルデマル・シヨラジチェウスキ(ポーランド), プレント・フレデリクソン(スウェーデン), ミハル・ヘンキン(イスラエル), ピーター・ハーマン(ARMA), C.G.M. ノルダム(オランダ).

欠席者: コンチェッタ・ダミアニ(イタリア), コリン・マケイン(オーストラリア), パトリシア・スリーマン(英国),

1 WELCOME 開会挨拶

ディディエ・グランジュが2004-2008新S P A運営委員会メンバーを歓迎した。各メンバーは自己紹介を行った。

ROUTINE MATTERS AND ADMINISTRATION 通常事項・運営

1.1 General committee information 委員会情報一般

ディディエ・グランジュは、運営委員会の構成と活動の基本情報を述べた。彼は、運営委員会のメンバーの人数15名とは、ICAの規則および規制の下で認められた最大であることを示した。これは前運営委員会に比べ2人のメンバーの増加である。運営委員会は、通常年2回の会合を行う。ひとつは秋の円卓会議会期中に開催し、もう一回は春に開催する。春の会議は、時間をかけてS P Aの活動を考えるため、最も重要な会議である。秋の円卓会議での会合は、S P A代表者会で、ここには報告が提出される。会合の議事録は公用語であるフランス語と英語で作成される。SPAのウェブサイトは、過去数年に関する代表者会報告書および過去4年の分が掲載されている。サイトはさらにSPAの規約および様々なSPAの出版物が掲載されている。

2 STEERING COMMITTEE POSITIONS 運営委員会役員

ディディエ・グランジュは、S P A会長に立候補し、副会長にアンリ・ズバル、事務局にジル・レサージュを提案した。ジル・レサージュは任期が2005年で終了するので、交代する。現在、ウェブ担当者がいない。今年後半にはサイトに直接にアクセスし、サイトへ変更を直接加えることができるようにすべきである。そのためパトリシア・スリーマンがこの任に当たれるどうか打診する。

3 PROJECTS プロジェクト

3.1 Projects to be completed 完結すべきプロジェクトについて

ディディエ・グランジュは、ICAの新しいビジョンが採択され、これに沿って今後のS P A活動はこれまで以上にプロジェクトに重点が置かれることになることを示し、現在進行中の各プロジェクトの確認を行った。これらのプロジェクトはICAの4つの優先事項に該当しなければならない。ディディエは、4つのICA優先事項および4つの部門横断的プライオリティ軸をリストするシートを回覧した。このシートは、プロジェクトにつきICA承認を得る目的も組み込まれた形式となっている。

アクション：提出を希望するプロジェクトのリストを作成する必要がある。

ディディエ・グランジュは、さらに、緑の本<訳注：グリーンブック；ICA総会資料を指す>が、SPAメンバーを77としていることに触れた。彼は、これがSKRメンバー(宗教アーカイブ団体)を含むことに注目した。ただし、SPAにSKRメンバーが含まれるのかどうかは明らかではない。ディディエは、さらにSPAに代表の有無を示す世界地図を回覧した。これは今後の会員増強活動に焦点を当てる資料である。

### 3.2 Archival Solidarity (AS) project – assistance to archivists in developing countries **アーカイブの結束(AS)プロジェクト 開発途上国のアーキビストへの援助**

ディディエ・グランジュは、アーカイブの結束プロジェクトを概観した。ワーキンググループは次の5人のメンバーで構成する:マリオナ・コロミネス、ナンシー・マレリ、マーガレット・ターナー、ブルーノ・コレ、ベニー・ハスペル。報告書は最近のSPAの会合に提出された。

アクション:すべてのメンバー宛にアーカイブの結束報告書を配布する。

ディディエ・グランジュは、トルディ・ピーターソンがアーカイブの結束ワーキンググループをリードし、かつASワーキンググループと運営委員会との連絡を図る役割を引き受けたことを発表した。ディディエは、ASワーキンググループのこれまでのメンバーと連絡をとり、ワーキンググループの仕事を継続する意向があるかどうかを確認する。

アクション: 前任ワーキンググループメンバーに対し、手紙で今後も継続的にASに参加する意思があるかどうかの意図を確認する。

次の4年間に、特定の目的および優先事項を定義する必要がある。報告書に盛り込まれた提案は、これに役立つであろう。

### 3.3 Certification of archivists **アーキビストの認定**

ディディエ・グランジュは、メンバー対象に行ったアンケートにはほとんどレスポンスが返されなかったことを報告した。SAEがこの問題についてSPAと共同のワーキンググループを組むことができる可能性があると言われた。出席メンバーからは、各国の最新状況につき短い報告が行われた。小川千代子、アンリ・ズバル、およびC.G.M.ノルダムは、この問題に取り組むことに合意した。コンチェッタ・ダミアニもこれに加わる可能性があるのではないかという示唆があった。

EURBICA(ICA欧州地域支部)でも、**アーキビストの認定**について取り上げ、それを優先事項であると確認しました。ホアン・ボアダス・イ・ラセットはEURBICAのメンバーで、この問題についてSPAとの連絡役の労をとる。公認レコード・マネージャー研究所<ICRM>へもこの問題に関し連絡を取るのとは有効であろうと言われた。

### 3.4 Directory of associations **団体名鑑**

ジル・レサージュは、世界中のアーキビスト団体のリストを集めていることを報告した。国によってはアーキビスト団体が多数存在する場合もあるし、そうした団体がまったく存在しない国があるなど、容易でない仕事である。まずは、より長期的でできるだけ多数の団体を収録する方向で、各国の全国団体を中心に拾って行く。このリストは、SPAの周知と会員増強お役立つであろう

アクション：リスト案を10月に配布

### 3.5 European Conference 2005 **欧州アーカイブ会議2005**

ディディエ・グランジュは、この件に関する会合が8月25日に開催され、次の人が参集したことを報告した:マルチヌ・ド・ボワステフル、ダリア・ナレチ、イザベラ・オレフィチェ、ホアン・ボアダス・イ・ラセット、ヴァルデマル・ショラジチェウスキ、ディディエ・グラン

ジュ、ジル・レサージュおよびアンリ・ズバル。会議は200年5月17~20日、あるいは18~21日のいずれかの日程で、ボズナニで開催される予定。プログラム委員会にはクリスティーン・マルチネス、イザベラ・オレフィチェおよびホアン・ボアダス・イ・ラセットがメンバーに入ることが決定された。

会合の記録は配布済。

### 3.6 Promoting membership of SPA SPAメンバー増強について

ディディエ・グランジュは、先に配布済みの地図を示し、議論を開始した。彼は、この件に取り組むグループを作ることを提案した。春の会議で、この件についての促進計画を練ることとした。

ピーター・ハーマンは、パンフレット2000部を各言語で印刷することを約束した。印刷物は、パリ・オフィスにストックし、SPAの運営委員会および各地域支部で配布する。パンフレットの送り状も作成すべきであるとされた。

小川千代子はESTICA会議で、パンフレットをそこに参加者に配布することが可能。ローラ・ガブリエラ・サラザールはALAに連絡を取り、南アメリカの協会へのパンフレット配布に努力する。南東アジアは今後4年間でのメンバー増強に関しては期待される目標であるとされた。<結局小川千代子はEASTICA会議2004には参加せず。>

いくつかの協会が今組織されており、規約策定に関する情報を求めていることが報告された。ジョン・ホアン・ボアダス・イ・ラセットは、関心を持つ向きはその団体の規約をジル・レサージュに送付し、ジルはそれらをウェブサイト上で見られるようにできるかを検討してはどうかと提案した。

アクション:ウェブサイトに掲載する情報として、ジル・レサージュのもとへ各団体の規約のデジタル・データを送付する。

### 3.7 ARMA Conferences ARMA会議

ピーター・ハーマンは、2006年5月に予定しているサンノゼ、コスタリカ(未確定)会議、及び2005年11月予定のシンガポール会議のその後の進捗について報告した。

## 4 NEW PROJECTS 新規プロジェクト

### 4.1 Advocacy 情宣

ディディエ・グランジュは、アーカイブの普及促進が重要なトピックで、それが機関および人々公を対象とするべきであるとした。この問題に関する既存調査を把握する必要がある。英国国立公文書館はとてもよいパンフレットを作っていると報告があった。

この件を担当するメンバー:プレント・フレデリクソン、ミハル・ヘンキン、ピーター・ハーマン、アンリ・ズバル。パトリシア・スリーマンとコリン・マケインもこれに関心を示すかもしれないとされた。

### 4.2 European Inter-association ヨーロッパのアーカイブ協会横断組織

アンリ・ズバルは、フランス・アーキビスト協会が音頭をとってヨーロッパのアーカイブ協会横断組織を作ろうとしている背景情報とその手順について述べた。彼は、これに関する概略情報の資料を回覧した。フランスとスペインはこの提案の支持を表明し、他の国々へもその支持を求めて提示されることとなる。この企画の基本目的とは、共通の展望のなかで、アーキビストの使命を統合することにある。

トルディ・ピーターソンは、アーカイブ・プロジェクトの評価は重要な問題のひとつであり、ジャック・グリマールが、この件についての研究を始めていると述べた。

#### 4.3 Human Rights 人権問題

ディディエ・グランジュは、多くのイニシアチブ(特に 8)を実現するためにペリーヌ・カナバジオとクリスティーヌ・マルチネスがワーキンググループの設置を提案したことを告げた。資金調達の申請をユネスコに提出する予定。

提案したプロジェクトの 1 つはアーカイブと人権に対する賞の創設です。ICA が賞を与えるためには権限を持たないので、SPA がこの賞の授与を担当する委員会となることが考えられる。人権の分野での重要な人物にちなんで賞の名称を決めるための調査が始まっている。ネルソン・マンデラの名前が出された。

この問題での SPA の役割を明確にする必要がある。

アクション: アンリ・ズバルはワーキンググループと連絡をとりこの件を確認する。

#### 4.4 Working group on ethical issues 倫理綱領に関するワーキンググループ

ディディエ・グランジュは、この件の背景情報を報告した。倫理綱領の促進についての障害克服のため、この件につきアーキビストの経験に近づけるためには、ワーキンググループは各国からの多くの事例研究を収集することが大切であると考えられる。

SPA としては、このグループとどのような関係を取り結ぶのか調査する必要がある。今後のアクションは、総会の結果に如何による。

#### 4.5 Data protection 個人情報保護問題

ブレント・フレデリクソンは、SPA のプロジェクトとしてデータ保護<個人情報保護>問題とヨーロッパ方式の結果について手の調査を行うことを提案した。

ブレント・フレデリクソンはクリスティーヌ・マルチネスと接触し、この件に関するプロジェクト展開方法を検討する。

トルディ・ピーターソンは、スーザン・ヒーリィが国際条約がアーカイブに及ぼす影響を研究している可能性があるため、この件で彼女と連絡をとることが有用だろうと述べた。

アクション: ブレント・フレデリクソンは、次の会合で議論される提案を策定する。

### 5 本委員会の業務

ディディエ・グランジュは、前出の各タスクの割当てが決められており、会合の間に議論したという事実を強調した。次の SPA の会までに、担当者は担当業務をしかるべく進捗させる必要がある。これにより、今後の会合では情報交換し、成果報告提出、意思決定を行う場としたい。次回の議題は、なるべく早く送付し、これに対して可能な限り多くの報告や情報交換、意思決定が行えるようにしたい。

その他次のポイントについて指摘があった。ディディエ・グランジュはフランス語のロビー活動をするガイドを翻訳したが、なぜかこれがウェブサイトには置かれていないので、その理由を調査する。アーキビストの倫理綱領の翻訳は進行中。さらに、SPA のパンフレットに添付する手紙の翻訳を行う必要がある。アンリ・ズバル、国際会議開催のためのガイドのがフランス語訳ができていると思われるので、これもウェブサイトには置かれるべきであるとした。

### 6 次回会議

次回運営委員会はスペイン・カタルニアで 2005 年 4 月に開催する。

## ACTION LIST 宿題リスト

Item 項目	Action 作業	Who 担当者	Due date 切
2	パトリシア・スリーマンにウェブマスタ担当してくれるか聞く	ディディエ	
3.1	I C Aに提出するプロジェクトリスト作成	ディディエ、アンリ、ジル	11月1日
3.2	アーカイブの団結報告書をSPAメンバーに配布	ジル	
3.2	アーカイブの団結WG旧メンバーに委員会メンバー更新お知らせ手紙を出す	ディディエ	
3.3	アーキビスト認定WGについてSAEに連絡		
3.4	アーキビスト団体リストの作成	ジル	10月
3.5	欧州アーキビスト会議プログラム委員会設立		
3.6	SPAパンフレット印刷	ピーター	
3.6	アーキビスト団体規約をジルに送る	全員	
4.3	人権団体WGに連絡、確認	アンリ	
4.5	データ保護に関するプロジェクト提案策定	ブレント	4月会議
5	ロビーガイドのフランス語版、SPA Webに掲載したか確認	ディディエ	
5	倫理綱領の翻訳把握	全員	進行中
5	パンフレット送付状翻訳把握	全員	進行中
5	SPA Webにフランス語版会議開催ガイド掲載の有無確認	アンリ	
6	次回	全員	2005年4月